

コースコード：RH-AD248

税込価格：291,500円 (税抜価格：265,000円)

日数：5日間

---

## トレーニング内容

Red Hat® JBoss® Enterprise Application Platform (JBoss EAP) 7のインストールと設定に関するベストプラクティスを紹介します。JBoss EAP上でアプリケーションを効果的にデプロイおよび管理するうえでシステム管理者が知っておくべき重要な実際の作業を、実践的な演習を通して学習します。

このコースは、Red Hat JBoss® Enterprise Application Platform 7.4に基づいています。

コースの修了後、仮想環境を含むすべてのコースについて、ハンズオンラボへの45日間の延長アクセス権が付与されます。

## ここに注目!!

## ワンポイントアドバイス

### 受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

Red Hat JBoss を初めて使用するシステム管理者または Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 7 を使用した経験のあるシステム管理者

### 前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

Microsoft Windows、UNIX、または Linux®  
オペレーティングシステムにおけるシステム管理の基本的な経験

TCP/IP ネットワークの基本的な理解

Java または シェルスクリプトの事前知識は不要です

無料のスキルチェック (<https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/>)  
でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。

## 目的



このコースを修了すると次のことができるようになります。

このコースは、アプリケーションの市場投入時間を最小限に抑え、管理作業を単純化するために必要なスキルを伸ばすことを目的としています。これらのスキルは、アプリケーションの安定性を高め、アプリケーションの管理コストを削減しようとする組織に適しています。このコースはお客様にメリットをもたらすように作られていますが、個々の会社やインフラストラクチャの特徴は異なるため、実際に得られる利点には差異が生じることがあります。このコースを受講すると、スタンドアロンおよびドメインモードのJBoss EAP 7を、EAP CLIとWeb コンソールの両方で管理できるようになります。

## アウトライン

**Red Hat JBoss Enterprise Application Platform：アーキテクチャと機能**  
Red Hat JBoss Enterprise Application Platform のアーキテクチャと機能について説明する

**スタンドアロンサーバーとしての JBoss EAP の設定**  
JBoss EAP のスタンドアロンサーバーインスタンスを設定する

**設定スクリプトの作成とアプリケーションのデプロイ**  
コマンドライン・インタフェース・ツールを使用して JBoss EAP を設定し、Jakarta EE アプリケーションをデプロイする

**マネージドドメインとしての JBoss EAP の設定**  
JBoss EAP をマネージドドメインとして設定する

**マネージドドメインでのサーバーの設定**  
マネージドドメインでサーバーやサーバーグループを設定する

**データソースの設定**  
JDBC データベースドライバーとデータソースを設定する

**ロギングサブシステムの設定**  
ログハンドラーとロガーを設定する

**メッセージング・サブシステムの設定**  
メッセージング・アーキテクチャを理解し、さまざまなメッセージングリソースを設定する

**JBoss EAP のセキュリティ保護**  
セキュリティ設定を適用して、JBoss EAP にデプロイされたアプリケーションのセキュリティを強化する

**Java 仮想マシンの設定**  
スタンドアロンサーバーとマネージドドメインで JVM を設定する

**Web サブシステムの設定**  
Web サブシステムのコネクタ、サーバー、およびその他の機能を設定する

**クラスタ化されたアプリケーションのデプロイ**  
クラスタ化されたアプリケーションのデプロイをサポートするさまざまなサブシステムを設定する

注：学習内容は、テクノロジーの進歩や対象業務の性質の変化に伴って変更されることがあります。